

こいずみかずひろ

小泉和弘



【プロフィール】 これまでの歩み

1963年3月13日生 東京都足立区に生まれる。

作詞作曲を手掛け、都内ライブハウス等に出演
社会メッセージを歌う。ライブハウス経営を経て、

2003年 大多喜町に移住（都内で音楽活動を継続）

2010年 老川小学校の閉校が問われ、最後まで反対の意を唱える。

） 都内音楽活動を全休止、地域活性化を踏まえ音楽活動を開始

2014年 老川小学校の閉校を機に、空校舎を活用したイベントを主催

） 6年間に渡り「養老溪谷音楽祭」の他、様々な地域イベントの運営と協力

2019年 地域イベントでの活性化は限界を感じ、新たな施策を考え続ける日々

2020年 この10年間、考え続けた活性化施策の実現を決意、現在に至る。

小泉和弘公式ホームページ

<https://koizumikazuhiro.jimdfree.com>

検索



政策、施策の詳細は、こちらをご覧ください！



QRコード

選挙公報より

このままの 大多喜町で いいんですか？

2040年問題「地方自治体の半数が消滅の危機に」

少子高齢化により確実にやってくる近未来、もう待った無しの政策が必要です。
自治体の消滅 = 医療、福祉、教育など、満足な行政サービスが受けられなくなります。

もはや、きれいごとを並べた政策を語っている場合ではありません。

これは20年後の話ではないからです。力のない自治体は真っ先に消滅してゆきます。
またコロナ禍で疲弊した日本経済下で、政府の地方政策が改善されるとは思えません。
よって今回の選挙は、大多喜町の存続をかけた大切な選挙に事実上なると思います。
私は、持続可能な地域循環型の「自立した町づくり」を政策の柱に、未来を考えます。

そうは言っても、どうするの？ 良い考え策はあるの？

あります。考え得る策はたくさんあります。実現に向けての行動が今、問われています。
もちろん特効薬ではありません。私一人でもできません。皆様のお力添えが必要です。
私達の代で大多喜町を終わらせてはならない。町の礎を築き子供たちに未来を残します。

「私は絶対、諦めない！」 そんな強い思いで、ここに立ちました。

【はじめに】 大切なお願い

「小泉和弘公式ホームページ」を是非、ご覧ください！

支持するしないに関わらず、大多喜町再生の政策、施策を載せました。

動画も交え、読む手間なくご覧になれますので、お気軽にアクセスして下さい！

【もっと危機感を持って対応しなければなりません。】

大多喜町を消滅させてはならない！ 近い将来（20年以内）の話です。

2025年問題（団塊の世代が後期高齢者になる）その後、生産年齢人口は減り続ける。
2040年問題（全国市区町村の半数が消滅の危機）先送りにする問題ではありません。
町の生き残りをかけた政策を講じなければ、大多喜町の消滅を避けることは出来ません

【そうならないための施策のひとつを紹介します。】

持続可能な地域循環型の「自立した町づくり」を柱に活動します。

①【地産地消から地消地産へ】 ⇒ 【流通しない地域通貨から流通する地域通貨へ】

地産地消と地消地産は、言葉を置き換えただけに思えますが全く違う考え方です。
「地産地消」は、地域で生産したものを地域で消費する（**供給優先**）に対し、
「地消地産」は、地域で消費するものを地域で生産する（**需要優先**）の考え方です。
地域で供給がどんなにあっても需要がないものは流通するはずがありません。
地域で需要があるものを地域で生産するという考え方に基づく施策が大切です。
それは農産物に限ってではありません。生活に必要な物すべてに言える事です。
持続可能な地域循環性が高まってこそ、はじめて地域通貨は通貨として流通します。

②【地域経済の基本は、地域の資産（お金や資源）はまず、地域内で回すこと】

地域内の資産（お金）は地域内で循環させ、地域外への流出を防ぐ（**地域循環力**）
地域内で必要なものは地域内で生産（調達）できる環境を整える。（**地域調達力**）
地域内に眠っている資源を地域内で活用できる環境を整える。（**資源活用力**）
また、地域資源の活用により供給できるものの需要を増やす施策も大切です。
などなど、まだまだあります。従来通りの地域内のものを地域外へ移出して稼ぐ
（移出力、PR力、企画力）なども、もちろん大切ですが、これまで上手く行かなかった理由として、①で述べた需要に対応した供給不足の結果です。

③【本当にそんなこと出来るの？ 無理でしょ？ などの声が聞こえそうですが】

できます。簡単ではないでしょう。時間もかかるでしょう。でも必ずやれます。
地域が本来なら持っていた力、大多喜町の本来の力を取り戻すだけのことです。
「自立した町」とは、お金も物も地域で循環でき、需要に合わせて供給できる町、
資源を持続可能な状態に保ち有効活用できる町、などなど本来の姿に戻す施策は、
今後の社会情勢にかかわらず「自立した町」は、後世に存続することが出来ます。

【あとかき】

今回は、これまでになく候補者が乱立する選挙、選択肢が広がることは良い事です。
あなたが本当に信頼でき期待できる候補者を見極め投票することがとても大切です。
4年前、あなたが一票を投じた方は、この4年間、どんな活動をしていましたか？
選挙で公言した活動にも勢力的に取り組みましたか？ その成果は感じましたか？
大多喜町政が「新たに生まれ変わるチャンス」そんな選挙になることを期待します。